

# 令和元年度 広幡こども園 教育活動等に対する教職員自己評価

令和2年 2月

## 1 こども園の教育目標 『つよく あかるく やさしい子』

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・強い身体をつくる
- ・社会性を育む
- ・創造力・発想力・思考力を育む

## 2 本年度の重点目標

### 『夢中になって遊ぶ子』

- 0歳児：心地よく過ごす
- 1歳児：周囲に興味や関心を持って遊ぶ
- 2歳児：意欲的に遊びを楽しむ
- 満3歳児：保育者との安定した関わりの中で簡単な身のまわりのことを自分でしようとする
- 3歳児：保育者や友だちと親しみ安心して自分のしたい遊びに取り組む
- 4歳児：保育者や友だちに親しみをもって関わりながら、様々な活動に楽しんで取り組む
- 5歳児：生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ中で感性を豊かにする

### 評価基準

4(はい、そう思う)・3(大体当てはまる)・2(あまり当てはまらない)・1(いいえ、そう思わない)・0(担当外・無回答)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価					回答数(0を除く)	評価点
		4	3	2	1	0		
1. 保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	13	19	8	0	1	40	3.13
	②こども園教育要領を理解していると思う	5	25	5	0	6	35	3.00
	③園の教育課程を元に保育の計画を立てている	7	13	7	1	13	28	2.93
	④指導計画は教育要領・教育課程・子どもの実態などをベースに考え作成している	13	10	4	1	13	28	3.25
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	15	15	5	0	6	35	3.29
	⑥保育を見せ合い検討・反省・評価を加え子どもの生活と自分の保育に繋げている	10	14	6	1	10	31	3.06
2. 保育の在り方・子どもへの対応 *養護の行き届いた人的環境	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめる	27	8	1	1	4	37	3.65
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	13	13	12	1	2	39	2.97
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	11	18	6	1	5	36	3.08
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	26	7	5	0	3	38	3.55
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	16	19	3	0	3	38	3.34
3. 保育者としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	8	15	12	1	5	36	2.83

評価対象	評価項目	自己評価					回答数(0を除く)	評価点
		4	3	2	1	0		
3. 保育者としての能力や良識・適正	②子どもや、保護者との対応には、公平さをかせないようにする	23	12	5	0	1	40	3.45
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	29	8	4	0	0	41	3.61
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	17	18	6	0	0	41	3.27
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	35	4	2	0	0	41	3.80
	⑥こども園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	18	18	5	0	0	41	3.32
4. 保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	17	14	4	1	5	36	3.31
	②保護者の要望を受け止めて実行する場合は、教育的な意義付けをはっきりさせる	9	14	8	1	9	32	2.97
	③園児や保護者の個人情報については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	34	3	1	0	3	38	3.87
	④保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	16	19	4	0	2	39	3.31
	⑤保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	24	8	3	1	5	36	3.53
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	1	21	16	1	2	39	2.56
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関について理解している	3	19	16	2	1	40	2.58
	③地域開放や子育て支援について、具体的な形や内容を理解している	2	18	18	2	1	40	2.50
6. 研修と研究	①自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	18	14	4	1	4	37	3.32
	②遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3	20	10	2	6	35	2.69
	③保育の専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などに関心がある	10	18	12	0	1	40	2.95
評価点平均								3.18